

地域づくり推進交付金活用事業

芳川地区	令和7年度	交付金額：900,000円
取組み1 芳川地域づくり協議会運営事業 芳川地域づくり協議会		
(1) 目的 芳川地区の各団体を緩やかにつなげ、地区として一体的な地域づくりを推進するとともに、芳川地区地域づくり協議会事業計画に基づき、各部会の活動を推進し、部会どうしの連携を図ることを目的とした。 (2) 取組み 協議会総会（年1回）をはじめとし、運営委員会を5月から毎月1回ずつ開催するとともに協議会を4つの部会に分け、各部会または合同で合計16回の部会を開催した。部会内で課題を洗い出し、運営委員会で情報共有し、課題解決に向けた検討と取組み（事業実施団体への支援）を行った。 また、防災力の向上を目指した地域づくり学習会を開催し、災害時の自助・共助の大切さ役員としての役割分担など防災意識の高揚を図った。 持続可能で円滑な協議会運営のため、事務局員1名を雇用した。 (3) 今後の展開 全戸配布した「芳川地区防災マニュアル」を活用し、自助の意識高揚を図り、在宅避難を進める。 円滑な協議会運営のために事務局職員の継続雇用を行う。		
取組み2 芳川地域づくり協議会事業 「防災と健康フェスタ」 芳川地区町会連合会 共催		
(1) 目的 「自分の身は、自分で守る」を防災の基本とし、平成23年の松本地震を機に翌年から芳川地区の総合防災訓練を実施してきた。地区内のより多くの方に防災意識を高めてもらうため、令和5年度から訓練を「防災フェスタ」というイベントに変え、開催している。在宅避難に必要な備えや互いに顔の見える関係をつくりにより災害に備える地域を目指		

す。

今年度は、防災に「健康」という視点も取り入れ、防災と健康フェスタと題し、イベントを実施。

(2) 取組み

- ア 段ボールバットの組立て体験
- イ 簡易トイレキット使用体験
- ウ ハイゼックス米の試食
- エ 人命救助セットの展示、小児迷彩服着用記念撮影
- オ 放水消化体験、小児防火服着用記念撮影
- カ 煙道体験
- キ PHEV車の展示
- ク 災害に役立つロープワーク
- ケ 救急講習
- コ 火起こし体験
- サ 血管測定・豆つかみ
- シ 血圧・握力測定
- ソ 防災備蓄品の配布

【人命救助セットの展示】



【消防団の車展示】



【火起こし体験】



【血圧・握力測定】



(3) 今後の展開

より多くの方に「自分の身は、自分で守る」という意識の醸成を図る。
多くの方が参加しやすい体験型のイベントの開催を継続する。

取組み3 芳川地域づくり協議会事業「農業体験」

芳川地域づくり協議会

(1) 目的

耕作者の減少や高齢化、地域の農地・農業を守っていくこと、若い世代や移住者などが農業体験を契機に就農への興味関心を持ってもらう。
転入者等が地域に溶けこめる交流の場とする。

(2) 取組み

- ア とうもろこしの種まき
- イ トウモロコシの疎抜き
- ウ 田植え
- エ 施設（育苗センター）見学
- オ トウモロコシの収穫
- カ 稲刈り
- キ 大豆拾い・収穫祭

【田植え】



(3) 今後の展開

地域づくり協議会の組織団体であるＪＡ、（有）芳川営農、農村女性協議会の協力を得ながら、継続して実施する。

体験で終わることのないよう取組みを工夫し、継続して参加する参加者へのアプローチや新たな参加者を増やし、農業やお米作りに対する意識改革を図る。

取組み4 芳川地域づくり協議会事業 「こども食堂」

芳川地域づくり協議会

(1) 目的

長期休みの子どもたちの居場所として「こども食堂」を実施。
学習支援、遊び場、食事の提供による多世代交流を図る。

(2) 取組み

夏休みと春休み期間中にこども食堂を３回開催

大学生や教員ＯＢの協力による学習支援、ボードゲームや手芸・工作などを実施。

カレーなどの昼食も提供

【こども食堂の様子】



(3) 今後の展開

居場所としての「こども食堂」の継続実施。
主体的に取り組む人材の発掘と確保の検討。

取組み5 芳川地域づくり協議会事業

芳川地域づくり協議会

(1) 目的

協議会の取組みを地域住民に周知するため「芳川地域づくりニュース」の発行。

災害時の備えや地区内のイベント情報等をLINEで発信する「芳川かわら版」の配信。

(2) 取組み

「地域づくりニュース」年1回発行（全戸配布）

「芳川かわら版」月2回配信（全24回）

(3) 今後の展開

「地域づくりニュース」を紙で発行し、全戸配布することにより、活動内容を周知する。

魅力のある「芳川かわら版」の配信と登録者増加に向け、会議やイベントの際に継続的に周知を行う。